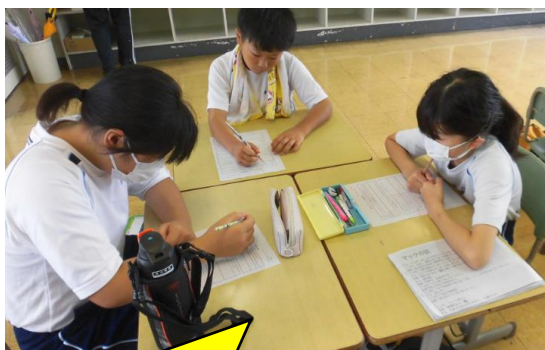


8月27・28日 5年生が「わくわく体験活動」を行いました！

1日目



2日間の体験活動を成功させるために目標を立てたよ！

「みんなで協力して活動するぞ！」

【防災教室】

防災士（前新さん、佐々木さん、石谷さん、中川さん）にお越しいただき、「大雨洪水のVR体験」、「避難所グッズ体験」、「家庭の防災セットの中身や防災マップの確認」について体験等を通して、自助・共助・公助について考えました。



【看板づくり】

「学校入口の看板が朽ちてきたから、新しい看板を作ってほしい。」と、校長が5年生に依頼。

児童は、分担しながら協力して、丁寧に塗装していきました。

卒業生の前新さんが板を提供してくださり、表面を整えたり、屋根をつけたりしてくださいました。9月中に設置しますので、見てくださいね。



【夕飯づくり】

「自分から行動し、協力しながらカレーライスを作ることができた。味わいたい。支えてくださった方皆に感謝しながら、いただきます！」



【キャンプファイヤー】

火の使いから児童が火を受け取り、点火！「心を開放し、スタンツしたり 将来の夢等を語り合ったりしました。」



2日目



【退村式】

宿泊した「広島ふるさと村」の玄関前で、カシャ！
管理されている行原さんにお礼をしてふるさと村を出発しました。

【ゴミ拾い】

三和町をきれいにするため、積極的にゴミを拾ったよ！
「思ったよりごみが多い！たくさん拾うぞ!!」



【福祉スポーツ体験】

三和スポーツクラブの長尾さん、三次市障害者支援センターの織田さんにお越しいただき、「フライングディスク（アキュラシー）」の競技について紹介していただきました。子供から高齢者、障害者の誰もが楽しめるようにルールを工夫できる、楽しいスポーツでした。



「最初は、わくわく体験に不安があったけど、楽しかったよ。2日間の体験活動を成功させることができ、目標達成！」

5年生11名は、わくわく体験活動のねらいである「みんなで協力して支え合う」「自分たちで考えて行動する」「集団生活のきまりを守る」ことを意識して充実した2日間になりました。自分たちの行動を振り返りながら活動することができ、きっとこの経験を生かして、2学期の学びを主体的に進めていくことでしょう。

